

学位論文内容要旨

■博士論文

- 幼児期におけるコーディネーション能力の形成に関する研究
—投動作における定位能力・分化能力に着目して— 加納 裕久 148
- 体育科教育における戦術・技術認識の形成過程に関する研究 玉腰 和典 153

■修士論文

- 精神科病院への長期入院経験者によるそれぞれの「退院」の意味
—社会関係の広がりに着目して— 西本 彩香 157
- 低所得単身高齢者の住宅を確保する可能性
—名古屋市営住宅条例を事例に— 晏 平 159
- 母子通所施設における遊びを通しての療育方法の検討
—母子関係に着目しての実践分析より— 生田 良美 161
- 大学におけるキャリア教育の課題 江利川良枝 163
- 行動科学に基づいた学齢期の睡眠教育に関する研究
—変容ステージ、自己効力感、意思決定バランスの尺度開発— 大曾 基宣 165
- スクールソーシャルワークにおける
トラウマ・インフォームド・アプローチの可能性 澤田 佳代 167
- 子ども条例制定自治体における教育と福祉
—特別な支援を要する子ども施策に焦点をあてて— 島村紀代美 169
- 女子高生のダンス学習の身体的・心理的効果について
—重心動揺と気分の変化から— 出井せつ子 171
- 今日の教育法学研究における「国民の教育権」をめぐる議論の整理
—2000年以降における『日本教育法学会年報』を素材として— 寺谷 直輝 174
- スクールソーシャルワークの価値と倫理に関する一考察
—日本における補足的倫理基準の必要性について— 中村 豪志 176
- 教育機関と医療機関の連携のあり方 長江 秀成 178
- 感覚特性をもつ発達障害児の集団療育における行動変容
—感覚プロファイルと質的分析を中心に— 山口佳代子 180